

## 学会誌『専門日本語教育研究』へのよくあるご質問

### FAQ

#### Q1 学会誌『専門日本語教育研究』に掲載されるのはどのような論文・報告ですか？

本誌『専門日本語教育研究』においては、専門日本語教育に関する研究成果の記述、教育実践の紹介、開発した教材・リソースの紹介がなされた「論文」や「報告」「教材開発」を募集しております。調査データ・分析方法の信頼性や考察の妥当性、記述の緻密さなど、学術的な質を保証するための手続きの重要性は言うまでもありませんが、主題の選び方も採否に影響を及ぼすことがあります。ですので、下記の説明をご参照ください。

まず、特定の領域での活動を目的に日本語を学ぶ学習者のための日本語教育に関わる論文、報告、教材開発を求めています。その領域に関与していくうえで必要な日本語の実態調査、その実態に合わせた教授法・教材の開発などがこれに相当します。また、特定の領域において、日本語学習者を取り巻く社会実態の調査であっても、日本語教育と密接にかかわる内容であれば対象となります。「領域」は特定せずとも何らかの「専門性」獲得のために必要な日本語の言語機能の分析や、その分析の成果をいかした教育実践への提言なども対象とします。上記の「領域」「専門性」は、学術的なことでも職業的なことでもかまいません。

最も重要なことは、論文・報告・教材開発において、どのような点で専門日本語教育と関連しているかを明示していただきたいということです。本誌にこれまで掲載されていないような題材であっても、文面において専門日本語教育との関連性が説得力を持って説明されていれば掲載の対象といたします。ただし、紙幅に限りがありますので、先行研究を引用するなどできるだけ簡潔に明示していただけますようお願いいたします。

#### Q2 原稿を送る前に投稿希望を申し出なければならないのはなぜですか？

投稿数を事前に予測して、編集作業を滞りなく進められるよう準備するためです。本誌投稿は8月20日前後が例年締切となりますが、7月末までに投稿希望のメールを送っていただくというルールになっております。本誌への投稿が多くなるのはありがたいことです。しかし、小規模な学会ですので、想定以上の投稿があった場合には査読など編集作業を通常通りに進めることができなくなる恐れがあります。査読付きでありながら投稿締切から半年未満という短期間での刊行を行っているのが特徴でもありますので、事前の「投稿希望」通知へのご協力をよろしく願いいたします。

#### Q3 入会前に投稿できますか？

投稿は正会員の権利です。投稿前にご入会ください。入会の事実が確認できない場合は査読の対象にはなりません。ご自身の会費納入状況は「会員マイページ」にてご確認ください。

#### Q4 科研費の報告書に転載できますか？

ご自身の科研費報告書、あるいは、ご所属機関のリポジトリに本誌掲載論文・報告を転載することが可能です。原稿の改編を行わず、出典が本誌であることを明示した形で転載してください。

**Q5 投稿時に紙の原稿は必要ないのですか？**

掲載が決定した場合は紙原稿をご送付いただくことになります。しかし、査読中は電子媒体でやりとりを行いますので電子ファイルだけで結構です。

**Q6 記名原稿は必要ないのですか？**

掲載決定後に記名原稿をご準備いただきます。それまでは査読時の匿名性確保のために個人情報を伏せた原稿のみをお送りください。該当箇所を空白とするか、「XXXXXXXXXX」など別の文字列に置き換えてください。あるいは、Acrobat の「墨消し」機能等で非表示情報を完全に削除した PDF ファイルを提出いただいてもかまいません。Word ファイル上で黒く塗るだけでは情報は消えませんのでご注意ください。冒頭のお名前、所属だけでなく、末尾にも謝辞、英文署名など個人情報が含まれますのでご注意ください。

**Q7 「修正箇所明記書」の書き方には決まりがあるのですか？**

特に書式はありません。また、ワードでもエクセルでも、どのようなエディタを使っていたとしてもかまいません。査読通知の指摘と対応状況が一覧できる文書であれば大丈夫です。ただし、こちらも査読者が参照しますので、お名前など個人情報が含まれないようにご注意ください。